

# ☆☆☆ Library Eye 2020 ☆☆☆

第4号 2020. 7. 1 (水)

発行元 明星中学校・高等学校 図書館



## 【マスク&フェイスシールド体験記】

6月1日(月)からスタートした分散授業は、生徒の命と健康を守るために、消毒、ソーシャルディスタンスの確保、換気など、徹底したコロナウイルス対策の元で実施されています。

マスク&フェイスシールドも、その対策の一つです。

マスクは馴染み深いものですが、この季節ではまさに夏炉冬扇です。フェイスシールドを装着するのも初めてで、いくら透明とはいっても違和感があります。授業に熱を帯びてくると呼気で蒸れて窒息しそうになりますし、視界が曇って手元の教科書が見えにくくなります。



こうした条件の中で、発問も巡回指導もできずに授業をするというのは、ソーシャルディスタンス以上に生徒との間に心理的距離を感じるものです。

その、なんと「歯がゆい」感触は、6月15日(月)にスタートした、電子メールによる「貸出」「返却」「延滞」手続きにも通じることで、1日も早く、生徒で賑わう図書館が戻ってくれたら、と願っています。

## 【頭がいいって、どういうこと?】

2月、司書と共に、埼玉県にある高校の図書館を見学してきました。この学校の図書館担当の先生は、とてもエネルギーで話題も尽きなかったのですが、なかでも印象深かったのが「記名」の話でした。4月に上履きを買替えると、多くの学校では他の生徒の物と間違わないようにまず「記名」をさせます。ところが、この高校では「記名」はしないとします。頭がいいから必要がないのだ、と。

一同、おもわず「うーん」と唸ってしまいました。頭がいいとは、そういうことなんだ!

この高校の偏差値は70を超え、毎年、超難関大学への「進学者」を何十名も輩出しています。結局、どんなことでも成果を挙げる秘訣は、まずは自己管理ができている、ということに尽きるのでしょう。

図書館を見学に行ったのに、まったく関係ないところに感心して帰ってきた私達でした。

## 【アフターコロナをどう学ぶか】

1620年、メイフラワー号が新天地アメリカに到着してからわずか16年後の1636年、まだ食料不足に苦しめられている状況の中で、マサチューセッツ州に小さな学校が建てられました。これが今、世界最高峰の名をほしいままにするハーバード大学の始まりです。

1870年、戊辰戦争で壊滅的打撃を受けた長岡藩に、窮状を知った三根山藩から米百俵が贈られました。飢餓に苦しんでいた藩士たちは、ようやくこれで飢えがしのげると大喜びしましたが、藩の指導的立場にあった小林虎三郎は、藩士たちの猛反対を押し切って米百俵を売却し、そのお金で学校を建てました。

この2つのエピソードに共通する考えは「その国の未来は《学び》の中にある」ということです。

お子様たちの未来も《学び》の中にあります。

3月から約3か月間続いた登校禁止期間と、それに続く6月の分散・遠隔授業期間を、どのような姿勢で過ごしたか、そこにこそアフターコロナの《学び》の課題があるのではないのでしょうか?

Read more books!

## 【本の世界にトリップしてみませんか】

今年度は新型コロナウイルスの影響により、通常通りの登校もできず、多くの非日常の生活を強いられています。いつもと違う生活のなかで、ストレスを感じているひとも多いかもしれません。それぞれ気分転換の方法があるかと思いますが、ぜひ、今年の夏休みは、これまでとは違う読書から新しい世界に入り込んで、リフレッシュしてみませんか?

小説だけでなく、様々なジャンルの本が図書館にはそろっています。読書することで、知識が深まり、想像力も鍛えられます。登場人物の人生を疑似体験することで、自分と違った考えや生き方に出会い、そこから何かを学ぶこともできます。忙しくて、読書の時間を作れないと思うかもしれませんが、1日5分でもよいので、夏休みに1冊読んでみましょう。

何を讀んだらいいのかわからないというひともいるでしょう。そこで、中学1年生から高校2年生までの皆さんに、角川書店・岩波書店・集英社・新潮社の4社から発行された、中高生へのおすすめ本が掲載されている小冊子を、クラスごとに配布します。配布時期は7月中旬を予定しています。高校3年生で希望するひとは、図書館カウンターでお渡しします。ただし、数に限りがありますので、希望者は早めに来館するようにお願いします。

この冊子に掲載されている本は、選びやすいように、図書館入口に展示コーナーを設置しています。読みたい本が見つからない時は、気軽に司書にたずねてください。読書を習慣づけると、生涯において必ず自分自身の大きな強みやパワーになります。自分の興味があるテーマに関連する本と図書館で出会って、夏休みにできれば『1冊読破』を目標に読書を楽しんでもらいたいです。保護者の皆様にも、冊子をご覧いただければ、と思います。



## 【図書館のコロナウイルス対策】

制限のある中での利用になっていますが、生徒のみなさんに安心して図書館を利用してもらうために、様々な対策を行っています。

《対策内容》

1. 入口扉と館内の数か所の窓の開放
2. 入口とカウンターに消毒液の設置
3. カウンター前、コピー機前に2メートル間隔でディスタンスシールを貼付
4. 空気清浄機をカウンター周りに増設
5. 館内生徒滞在数が30名以上にならないように規制
6. 「密」になっているところへの声掛け
7. 貸出の際、身分証明書は生徒に提示してもらい、受け渡しをしない
8. 司書は常に手袋とマスクを着用
9. 返却本の表面は消毒液でふいて除菌し、次の貸出まで1日置く
10. 使用した座席の除菌を実施

以上のような対策をとり、安心して利用できるよう取り組んでいます。

